

平成 30 年 3 月 5 日

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

株式会社瀬戸酒造店が醸造開始。開成町の地酒を 38 年ぶりに復活させ、 発酵による地域ブランドづくりで地域活性化を目指す。

株式会社オリエンタルコンサルタンツの子会社である神奈川県開成町の株式会社瀬戸酒造店は、3月4日に醸造所の完成と醸造再開を祝し、関係者を招いて蔵開きを執り行いました。

蔵開きには、神奈川県の浅羽副知事をはじめ、府川町長、開成町議会の議員、県立吉田島高校、足柄上商工会、飲食店組合などの地域の方々、神奈川県酒造組合、神奈川県内の蔵元などの酒造関係者にご出席いただきました。

瀬戸酒造店は、慶応元年に創業した酒蔵で 1980 年に自家醸造を断念しておりましたが、オリエンタルコンサルタンツの地域活性化事業として、2017 年 4 月にオリエンタルコンサルタンツの 100% 子会社となり、醸造所と井戸を新たに整備し、この度、自家醸造を再開することとなりました。

今後、瀬戸酒造店は、開成町北部地域の美しい自然や豊かな資源を活かし、伝統の技と柔軟な発想で日本酒の可能性を拓き、飲んでいただいた皆様に幸せにする酒蔵を目指します。6 月には、伝統の酒「酒田錦」、いろいろな楽しみ方を提案する酒「セトイチ」、あじさいの花酵母を使った地域の酒「あしがり郷」の 3 種類を販売する予定です。

また、オリエンタルコンサルタンツは、神奈川県の未病改善プロジェクトとして、開成町で指定管理者となっている「あしがり郷瀬戸屋敷」をフィールドに、東京農業大学醸造科学科と連携して「発酵」をテーマとした「食」と「社会参加」による未病の改善の取組みである「はっこう大作戦」を実施しています。

今後は、開成町の「瀬戸酒造店」と「あしがり郷瀬戸屋敷」を拠点に、地域の飲食店や住民の方々と協働し、発酵をテーマとした食品開発に取り組み、新たな地域ブランドをつくることで、開成町の地域活性化に取り組んでいきます。

■瀬戸酒造店 URL

<https://setosyuzo.ashigarigo.com/>

【蔵開きの模様】



醸造所の前での集合写真



野崎秀則 (株) オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長



杉玉の贈呈の様

左：野崎秀則 (株) オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長
中：森隆信 (株) 瀬戸酒造店 代表取締役
右：吉田島高校食品加工科の1年生の2人と校長



醸造所の全景写真



6月出荷予定の製品イメージ

左：酒田錦

中：セトイチ

右：あしがり郷

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、内藤